

児童生徒のみなさんへ（お家の人と一緒に読みましょう）



人工知能（生成AI）利用に関する注意事項

基本的な考え方

皆さんが身につける大切な力の一つに「情報活用能力」があります。これは、新しい知識を得たり、課題を解決するために大切な力です。最近耳にする人工知能の一つに、生成AIがあります。この人工知能の仕組みを理解したり、どうやって学びに役立てるかを考えたりすることで、情報活用能力を鍛えて、近い将来、人工知能（AI）を安全に上手に使えるようになることが大切です。



など、主な生成AIのサービスでは使って良い年齢が「規約」で決まっています

「規約」は変わることがあるため、使う前に必ずお家の人と一緒に確認しましょう



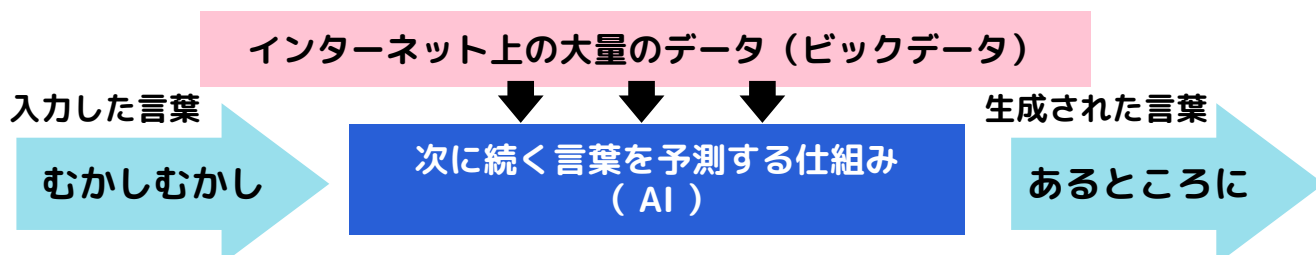
多くのサービスで小学生は**自分だけでは利用できません**。

中学生は**保護者の同意が必要な場合**があります。

（授業での利用は教育委員会や学校の判断によって制限されることがあります。）

生成AIとは

【文章生成AIの場合】※他には画像生成AIなどがあります。



次に行く可能性の高い言葉を予測して提案しているだけで、文章全体の意味が正しいかどうかを生成AIは考えていません。間違いがある可能性があります。

課題などでの利用について

①生成AIを使う場合に気をつけること

- 自分だけで使ってよいか、使う時には保護者と一緒に規約を確認しましょう。
- コンテストや学校の宿題のために使うときは、生成AIを使ってよいか、禁止されていないかを確認してから使しましょう。
- 生成AIが作った文章を使う場合、最終的には自分（保護者）の責任になります。
- 世の中には生成AIをつかったウソの情報や画像・動画などが出回っています。自分が生成AIを使わなくても、生成AIの仕組みを知り、注意深く様々な情報と向き合しましょう。

②保護者と一緒に生成AIをつかう場合のルール

- 個人情報、プライバシーに関する情報、個人や学校の秘密に関する情報、著作権を侵害するような情報を生成AIに入力してはいけません。
- ルールに沿って生成AIを使ったときは、次のことをわかるように書きましょう。
 - a. 生成AIにどのような入力をしたか
 - b. 生成AIがどのような結果を生成したか

③保護者と一緒に内容を確認しましょう

- 生成AIがつくった文章は正しいとは限りません。事実なのか、適切な表現なのかを確認しましょう。
- 生成AIが生成した結果が著作権を侵害していないかを確認しましょう。

保護者の皆様へ

本注意事項は、令和5年6月末日に文部科学省が暫定ガイドラインとして示したものを参考に、現時点での生成AIの利用に関する注意事項を取りまとめたものです。文部科学省の暫定ガイドラインは右のQRコードから確認できます。

